

おおさこ すぐる マラソン 大迫 傑 選手が附属病院小児科病棟を訪問。 子どもたちに走り方のコツを伝授しました！！

プロランナーの大迫傑選手が 9 月 18 日、横浜市立大学附属病院（神奈川県横浜市金沢区）を訪問し、小児科病棟の子どもたちに走り方の秘訣を直接伝授するなど、療養中の子どもたち向けのイベントが開催されました。

大迫選手は、小児科に入院中及び外来通院中の幼児・児童に、正しい姿勢での歩き方や走るコツなどを、遊びやミニゲームなどを通じて指導。また、ゲームに参加できない子どもたちの病室を訪問し、記念品を贈呈するなど療養中の子供たちを元気づけてくれました。大迫選手からは、「このような機会を通じて、子供たちに体を動かす意味や楽しさを教えられる経験ができてうれしかった」とコメントがあり、また子どもたちや保護者から「これからも頑張ってください」とエールが送られました。



子どもたちと一緒にゴールテープを切る大迫選手



イベントに参加できなかった子どもの病室を訪問

このイベントは、大迫選手のスポンサーであるマニユライフ生命保険株式会社（取締役代表執行役社長兼 CEO：吉住公一郎、本社：東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」）による子どもの療養環境向上のための取り組みの一環で、パートナーシップを結んでいる、特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan の企画・運営により開催されたものです。

■実施内容

- 日 時 : 2019 年 9 月 18 日（火）14:45～16:40
会 場 : 横浜市立大学附属病院 小児科病棟（神奈川県横浜市金沢区福浦 3 丁目 9）
ゲ ス ト : 大迫傑 選手
企画・運営 : NPO 法人 Being ALIVE Japan
参 加 者 : 幼児、小・中学生とその保護者
内 容 : トークショー、大迫選手から走る姿勢の指導、病棟 Walk チャレンジ、
参加者からの質問タイム、記念品贈呈

[横浜市立大学 附属病院小児科の取り組み]

附属病院小児科では、2018年4月よりCLS (Child Life Specialist) を神奈川県内の大学病院では初めて配置し、活動しています。CLSとは、医療機関という家庭とは異なる環境で治療に臨む子どもやその家族を支援する専門職で、子どもや家族が抱える精神的負担を軽減して、主体的に医療を受けられるようにサポートする専門家です。今回のイベントに際しても病棟内の子どもたちがイベントを楽しめるようサポートしました。

[マニユライフ生命保険株式会社について]

マニユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション (マニユライフ) のグループ企業で、2019年、設立20周年を迎えました。プランライト・アドバイザー (自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。

[特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan について]

Being ALIVE Japan はスポーツを通じて、長期療養中のこどもたちの仲間 (TEAMMATES) を創出することで、青春と自立を支援する非営利団体。TEAMMATES 活動を通して、こどもたちが多様な可能性をもって成長し、活躍できる未来に貢献しています。

(ホームページ www.beingalivejapan.org/being-alive-japan)

◆子どもの療養環境向上の取り組みについて

マニユライフ生命は2007年より子どもの療養環境向上活動を継続的に取り組んでいます。その活動の一環として、小児医療施設の療養中の子どもたちのための院内プレイルーム「マニユライフわくわくる一む」の設置や療養に必要な設備を整備するためのサポート「子どもの療養環境向上アイデア」への助成などを行っています。2015年には子どもの健全な成育環境の向上への寄与が認められ、「こども環境学会賞活動奨励賞」を受賞。2018年には「子どもの療養環境向上アイデア」助成先として横浜市立大学附属病院を含む3施設を選定し、横浜市立大学附属病院では、子どもたちが主体的に検査や処置を乗り越え、スタッフが子どもたちの頑張りを引き出せるような空間づくりを支援（「マニユライフわくわくる一む」(2019年9月現在、16ヵ所の設置実績)）。